

市町村の人口動向や推計人口では、人口が多い地区の特徴が一般化されて説明されるなど、各地域の個別の人口の状況が漠然としている場合があります。このようなデータでは自分たちの地域の課題や取組について「じぶんごと化」が進みづらいつと考えられますので、より狭い地域に関する情報の提供と共有が必要です。

特に、小学校の校区などを単位に人口動向を見ることで、小学校の維持・存続の行方やPTA、老人会等の組織の存続などについて議論できます。

また、市町村合併を行った地域では、市町村合併前後での人口動向の変化の程度の確認も含めて行うことで、地域の現状について数値を持つて的確に把握することができます。

### データ例① 市町村の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

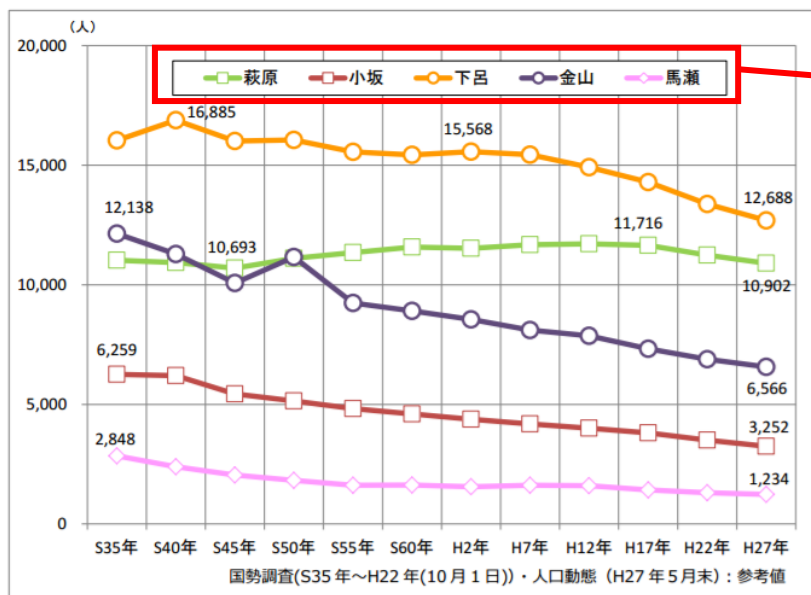
市町村の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」において、地域単位での人口・年齢別人口の特性を分析したり、将来人口の予測がされている例があります。また、地域単位での人口特性上の課題や、今後の懸念について記載していたり、「市町村版まち・ひと・しごと創生総合戦略」で対策を位置づけている市町村もあります。

これら市町村のデータを使って説明することで、市町村としての課題認識と取組方針を的確に伝えることができ、地域住民と「一緒に『何を』『どのように』取り組んでいくか」を考え、協働していきやすくなると考えられます。

#### ■市町村が策定した「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の例

(地区・旧市町村別人口推移)

岐阜県下呂市



地域別人口の推移をグラフ化

図 地域別人口の推移

「下呂市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」より